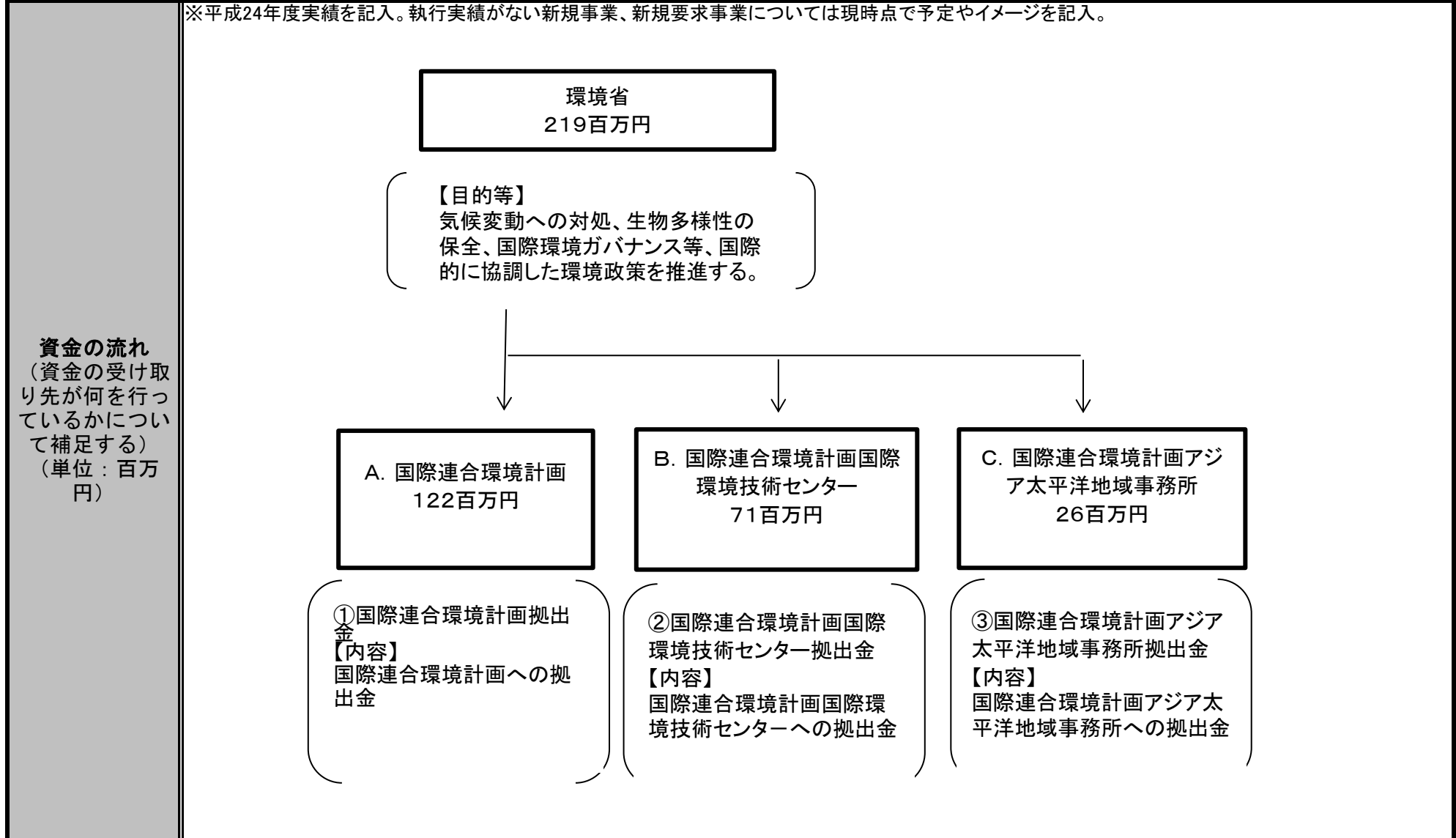


平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	国際連合環境計画拠出金等		担当部局庁	地球環境局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	(※「事業の概要」参照)		担当課室	国際連携課 総務課研究調査室		課長 戸田英作 室長 辻原 浩	
会計区分	一般会計		政策・施策名	2. 地球環境の保全 2-2 地球環境保全に関する国際連携・協力			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	第27回国連総会決議2997(XX VII)(1972年)、UNEP管理理事会決定(16/34)及び設置行政協定		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際連合環境計画(UNEP)は国連の下に設置された環境に関する問題を国際的かつ横断的に扱う唯一の組織であり、当該組織の活動を支援することにより、世界全体での環境保全の推進に貢献するとともに、我が国の有する環境分野の知見・経験・技術等を各国と共有する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>①UNEP拠出金 → 国連における環境関連活動の唯一の総合調整機関であるUNEPの活動に対して資金拠出を行うことにより、UNEPによる環境政策の推進等を支援する。我が国からは平成18年度以降同額を拠出し続けている。</p> <p>②UNEP国際環境技術センター(IETC)拠出金 → 1992(平成4)年に持続可能な環境管理への取組をさらに強化するため、UNEPの機関として設立されたIETCへの拠出を行う。現在IETCは大阪市を拠点として、主に開発途上国における環境問題の改善や環境に適正な技術の普及促進、統合的廃棄物管理などに取り組んでいる。</p> <p>③UNEPアジア太平洋地域事務所(ROAP)拠出金・気候変動に強靱な発展支援プログラム → アジア太平洋地域の途上国に対し適応基金へのダイレクトアクセスの能力開発を行うもの。</p> <p>【平成26年度新規事業】</p> <p>④世界適応ネットワークアジア太平洋地域事務局拠出金 → アジア太平洋を中心としたアジア太平洋適応ネットワークの事務局運営を中心に世界適応ネットワークの活動推進に貢献するため、同事務局への拠出を行う。</p>						
実施方法							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	276	261	219	213	274
	執行額	276	261	219	-	-	
	執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	国際機関への拠出金の成果を数値等、定量的に現すことは困難であるが、年次報告等により事業内容を把握		成果実績	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	国際機関への拠出金の活動指標・実績を数値等、定量的に現すことは困難		活動実績 (当初見込み)	-	(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト	- (円/ -)		算出根拠	-			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	政府開発援助国際自然保護連合等拠出金 (国際連合環境計画拠出金)	124	124	平成26年度から新規にアジア太平洋を中心としたアジア太平洋適応ネットワークの事務局運営を中心に世界適応ネットワークの活動推進に貢献するため、新規拠出を行うことによる増。			
	政府開発援助国際自然保護連合等拠出金 (国際連合環境計画国際環境技術センター拠出金)	65	66				
	政府開発援助国際自然保護連合等拠出金 (国際連合環境計画アジア太平洋地域事務所拠出金)	24	24				
	政府開発援助国際自然保護連合等拠出金 (世界適応ネットワークアジア太平洋地域事務局拠出金)	-	60				
計	213	274					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	環境問題を横断的に扱う唯一の国連機関であり、当該機関に拠出することにより、我が国として世界の環境保全に対する積極性をアピールできるため優先度は高い。また、③については我が国のみによる拠出のため、我が国のプレゼンスを強く広報できる。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	環境問題を横断的に扱う唯一の国連機関であり、支出の目的に即した支出先としては妥当。事務局予算については、管理理事会等で組織の予算計画・事業内容などを各国が承認するプロセスが存在し、費目・使途について適切且つ効率的な運用がなされるようにされている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	UNEPの予算・決算は2カ年予算であり、我が国の予算とリンクしていないため、我が国の拠出のみに対する成果の把握はできないが、組織の活動実績・成果物については、UNEP管理理事会等で個別テーマごとの決議を行い、各種成果物については逐次公表されている。また、③については我が国の年度末に評価会合を開催し、進捗の確認および翌年度計画について議論する場を設けている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>今後は以下の視点での評価を行った上で、事業の目的に鑑み、今後も我が国として必要性の高い活動を支援していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・義務的な拠出割合ではなく、任意拠出であり、これまで拠出額の是非について、きちんとした議論が行われることなく、毎年例年同額で拠出してきたが、なぜ、その額が必要なのか国民の感覚と拠出額がリンクするようなしっかりとアカウントビリティが必要。 ・特にIETCについては、平成24年度の公開プロセスにおける結果を踏まえ、有識者による議論・検討を行ってきたところ、25年5月にまとめられる予定の委員会の提言等を踏まえ必要な措置を講じていく。 ・アジア太平洋事務所拠出金「気候変動に強靱な発展支援プログラム」では年間計画をもとに随時進捗を確認しつつ事業を実施する。 					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	引き続き必要最低限の拠出となるよう検討を進めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	必要最低限の要求額とした。					
備考						
<p>公開プロセス実施年:平成24年度 レビューシート番号・事業名:「017 国際連合環境計画拠出金等」 公開プロセスの際の「結果」及び「とりまとめコメント」 「結果」⇒抜本的改善(現状維持0人、一部改善1人、抜本的改善5人、廃止0人)</p> <p>「とりまとめコメント」⇒ 地球環境問題は我が国だけの問題ではなく、国際的な大きな課題であり、地球規模の環境問題が顕在化する中でUNEPの活動への協力は必要であろう。しかし、国費を投入する以上、UNEPに対し、予算の効率化、経費の節減などについて、しっかりと報告を受けるべき。とりわけ、BのIETCは我が国が誘致に努力した経緯や責任があるが、話を聞く限りではメリットが見えないというか、説明できないという感じがした。単に拠出金を出して終わりではなく、誘致した当初の目的をもう一度しっかりと把握して、拠出金の評価を含めて、抜本的に仕組みを考えるべきである。</p>						
	平成22年	020	平成23年	017	平成24年	017

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



A.国際連合環境計画			B.国際連合環境計画国際環境技術センター		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
拠出金	国際連合環境計画への拠出	122	拠出金	国際連合環境計画国際環境技術センターへの拠出	71
計		122	計		71
C.国際連合環境計画アジア太平洋地域事務所			D.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
拠出金	国際連合環境計画アジア太平洋地域事務所への拠出	26			
計		26	計		0

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入 札 者 数	落 札 率
1	国際連合環境計画	国際連合環境計画への拠出	122	-	-

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入 札 者 数	落 札 率
1	国際連合環境計画国際環境技術センター	国際連合環境計画国際環境技術センターへの拠出	71	-	-

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入 札 者 数	落 札 率
1	国際連合環境計画アジア太平洋地域事務所	国際連合環境計画アジア太平洋地域事務所への拠出	26	-	-